

平成30年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊)	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	150,000人、380,000冊	今年度の実績値 148,260人、374,423冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	来館者数(人)	153,179	148,545	149,062	146,779	148,987	74,739	148,260
	講座開催回数(回)	36	100	113	121	127	79	136
	講座参加者数(人)	1,071	2,209	2,470	2,190	2,210	1,329	2,219
	貸出冊数	259,651	372,830	387,229	362,383	366,396	188,633	374,423

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	3ヵ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	0	0	0	0
	その他	25	20	19	21
	指定管理委託料	31,862	32,669	33,154	32,562
	①合計	31,887	32,689	33,173	32,583
支出	維持管理				
	光熱水費	0	0	0	0
	清掃等委託料	0	0	0	0
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	198	196	195	196
	運営				
	人件費	30,321	30,636	31,224	30,727
	事業等経費	1,488	1,494	1,499	1,494
	その他	0	0	0	0
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	32,007	32,326	32,918	32,417
	純収支(①-②)	△ 120	363	255	166

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	38,734	40,170	41,248	38,862	39,669	40,154
	(内、指定管理委託料)	31,734	33,170	34,248	31,862	32,669	33,154
	実質経費(歳出-歳入)	38,734	40,170	41,248	38,862	39,669	40,154

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化による施設・設備機器の劣化が見られるが、利用者の安全性と利便性、快適性を考慮し、ラスタホールとも連携し対応している。	A	協定書・仕様書に基づき、適切な維持管理を実施している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	図書館運営に必要な資格と経験、実績を積んだ職員を配置し、研修にも適宜参加。また防火管理者資格取得も随時行っている。	B	必要な職員配置を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	財団全体の連絡網を整備し、ラスタホール全館で連携し避難訓練を行っている。	B	連絡体制を整えられており、避難訓練を実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	多様な施設を管理運営する財団の特性を活かした行事や館内展示で利用者増に努めた。利用者からの意見やクレームについては関係部局と協議連携しながら迅速に対応。	B	他施設との連携事業を実施する等、新たな利用者の獲得に向けて努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	新規及び継続事業の充実を図る他、利用者との共同事業にも積極的に取り組んでいる。	B	計画どおり事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	伊丹市立図書館セキュリティ運用基準を遵守。財団の広報紙や館内掲示、ブログでのイベント情報発信などを積極的にを行っている。	B	広報紙やブログにより積極的に情報発信を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	収支計画に基づき適正に運営している。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価 B	協定書・仕様書に基づき、適切な管理運営がされている。貸出冊数は、前年度より増加していることから、引き続き、魅力的な図書館の運営を期待したい。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成31年2月20日 ～ 平成31年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用されての満足度について →大変満足(29%)、満足(61%)	従来通り接遇に気を付け、丁寧な対応を心がけます。また、安全でリラックスできる環境を構築するために、常に館内の様子や、施設の破損状況を把握し、安心して利用できる雰囲気づくりを行ってまいります。今後も利用者の更なる満足度の向上を目指してまいります。
回答者数	職員の接遇態度について →たいへん良い(40%)、良い(51%)	
58	清掃が行き届いているかについて →はい(98%)、いいえ(2%)	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置